

# アイリスLetter



2014年6月30日発行

第3号

広島女学院中学高等学校

## 保護者の皆様へ

女学院では礼拝をはじめとして、色々な形でお話を聴く機会が多く準備されていますが、今年度はSGH(スーパーグローバルハイスクール)に取り組んでいる関係もあって、更にその機会が増えています。

6月21日には、「平和を祈る週」特別礼拝に、原爆症のため中学に通う夢もかなわず千羽鶴を病床で折りながら逝った、佐々木禎子さんとずっと級友であった川野登美子さんのお話を聞きました。禎子さんの死から原爆の子の像を建てるに至った思いを、精魂こめて伝えてくださいました。いつもは小学生に話すので、と中高生の反応を気にしておられた川野さんでしたが、生徒達が真剣に聞いていた様子を喜んでくださいました。

6月25日には高校生対象で、国語科主催による文化講演会が開かれ、作家のリービ英雄氏が1時間半の講演をしてくださりました。外国人として日本文学の作家となられたリービさんは、多くの本を書かれ、普段は大学生に講義も行っておられます。高校生に話す機会は珍しいとのことで、開始前ステージ袖での待機時、ホールに入ってにぎやかにしゃべっている生徒達の声聞いて、「彼らはちゃんと話を聴きますか？」と心配そうな顔をされました。「大丈夫です。話が始めれば生徒達はしっかり聴きます。」と答えましたが、はたしてリービさんが講演を終えた感想として語ってくださった事は、「とても楽しい経験だった。生徒達がこちらの投げかけに良く反応してくれ、大変良く聞いてくれて、ついこちらも乗せられて力が入ってしまいました。興味を余り示さない大学生の前で話す時は、今日はこの程度でいいかと思ってしまうけれど、このようにしっかり聞いてくれる生徒達の前ではあれもこれももっともって教えてあげたくります。」と、とても満足された様子で語られ、その熱の入り様を示すように上着の下のワイシャツは汗びっしょりでした。ゲストブックに、「文学は若い人々の前で話すべきである。」とメッセージを残されましたが、生徒達にも日本の古典や純文学にしっかりと向き合ってもらいたいと思いました。

6月26日には、中高生有志を対象に、ルワンダから福島に来て生活しておられるカンベンガ・マリールイズさんのお話がありました。ルワンダで起きた内戦と虐殺、その苦しみの体験とその後に起きた和解について深いお話を頂きました。マリールイズさんは講演後、100名近くの生徒達がこんなにも真剣に体全体で聞いてくれたことに感動され、みんなの聞く姿勢についてあの事もこの事も時間を忘れて話してしまったと言われました。実は6月にはこの倍以上の学年や有志を対象とした国内外の方達の、内容の深い講演がありましたが、語ってくださった方々が共通して言われたのは、生徒達の真剣な聞く態度・参加する態度で、話をしたり活動を共にする中で元気や力を与えられたという感想でした。「この人たちと一緒にいてよかった。」と女学院の生徒達のことを思っ頂ける事は本当にうれしい事だと思いました。ただ、一方では、登下校での路上や車中でのマナーについて厳しいご指摘を受けることもあります。様々な場面での対人関係の中で、全体を見ながら他者に対する意識をもって、お互いを豊かにし、よいものを引き出しあえる人間関係を作っていけたら、と思います。

### 聖書の言葉

「彼女にはマリアという姉妹がいた。マリアは主の足元に座って、その話に聞き入っていた。」

ルカによる福音書 10章 30節

(校長)

## 平和を祈る週（6／16～21）

6月16～21日は平和を祈る週でした。スーパーグローバルハイスクールに指定されたこととも関連し、各学年の平和学習(Peace Studies)・中学礼拝委員会と高校宗教委員会主催の「昼の集い」や募金活動・特別礼拝で多くの人々や知らなかった世界との出会いがありました。期間中には、コスタリカ人留学生、首都大学東京でヒロシマ・アーカイブを開発された渡邊英徳教授やウイグル族の留学生などさまざまな方々との交流があり、平和について考えました。

最終日の特別礼拝には、川野登美子さんのお話を聞きました。川野さんは佐々木禎子さんのクラスメートで、中学生時代に「原爆の子の像」建立のための活動を行っておられた方です。川野さんから、原爆の体験が今もなお被爆者にとって忘れられない悲しみであること、禎子さんのために何かしたいという純粋な思いで、クラスメートたちが奔走していたことをうかがいました。川野さんの思いや、はじめて知った事実を受けとめた生徒たちは、これからあらためて「原爆の子の像」と出会うとき、今までよりもさらに深い気持ちが宿るのではないかと思います。



(グローバル教育推進部)

## 地区会役員会

6月20日(金)13時30分から中学チャペルで地区会役員会を行いました。PTAバザー担当副会長より、バザーに出す食品や物品の依頼と説明をしていただきました。

その後今年度の地区会活動の報告や計画をお聞きし、学校側からは地区会運営の手引きをお配りし、学校施設の使用の説明などを行いました。また、SGH指定校になり、新しい取り組みがなされていることを報告いたしました。有意義な会となりました。参加してくださった方々のご協力に感謝申し上げます。

(高校教頭)

## 教育実習について

6月2日から3週間(または2週間)、卒業生13名が本校で実習を行いました。出身校ということに加えて、生徒達と年齢が近いこともあってかすぐに打ち解け、授業やHRに参加していました。先輩という立場ではなく教師として生徒に接すること、教えることの難しさやその準備の大変さを痛感したようで、授業参観で真剣に教師を観察する姿や、授業の準備に取り組んでいる様子が見られました。短い期間でしたが、この経験が彼女たちを一層成長させたことと思います。彼女たちの今後の活躍を期待します。

(教育実習係)

## おさんぽ☆女学院

おさんぽ☆女学院が6月14日(土)午前中に行われました。プログラム開始後も来場者の波は途切れることなく続き、過去最多となるおよそ1,000人のお客様でホールは一杯になりました。ホールプログラムでは、マンドリン部のミニコンサートから始まり、女学院ならではの礼拝、SGHについてのパワーポイントによる説明を行いました。今年度から指定されたSGHについての関心が非常に高く、熱心に耳を傾けてくださる保護者の方々の姿が印象に残りました。その後は、食堂体験や校



内スタンプラリーなどを行い、大盛況のイベントとなりました。食堂では今年からスナックの販売も行われるなど、内容も少しずつパワーアップしました。

2005年から始まったこのイベントでは、毎年おさんぽリーダーとして中3・高1の生徒が手伝ってくれていますが、今年のおさんぽリーダーは特に意欲的に取り組み、様々な場面でよく活躍してくれました。塾に案内を届けてくれた中1のみなさんをはじめ、多くのサポーターに支えられていることに感謝です。



マンドリン部の皆さん、関係者の皆様方、ご協力ありがとうございました。

(広報部)

### 保健室だより (3)

#### ～睡眠と朝食をとって元気に登校しましょう！～

暑い日が続いており、全国的にも熱中症による救急搬送者や死亡者の増加が懸念されているようです。広島県では、感染性胃腸炎が下火になりつつありますが、本校でも少しの人数ですが発症しています。手洗いの励行と、もし下痢などの症状が続くようであれば、受診しましょう。万が一、感染性胃腸炎と診断されたら、学校伝染病治癒証明書（本校のHPからでもダウンロードできます）を医師に発行してもらってから、登校するようにしましょう。特に、朝から「調子が悪い。」と来室する人の中には、睡眠不足と朝食ぬきで登校する人が多いようです。むし暑い季節、何も口にせず登校すると、吐気も催しやすくなりますので、忙しい朝でも朝食を摂り、余裕をもって登校するようにしましょう。

(保健室)

### 心の健康 (3)

7月の学校生活は3つに分かれます。月初めの3分の1は期末テストですから、みんな勉強に励むこととなります。中の約10日はテスト返して悲喜こもごも。終わりの3分の1は夏休みで各自の計画で日々を過ごすこととなります。

状況はいろいろと変化しますが、日頃から子どもの話すことに本気で耳を傾け、親と子が互いに向かい合って話し、聞くという習慣を持ちたいものです。



(カウンセラー)

### 生徒の活躍

《中学》

◇中学放送部

\*第34回広島県中学校放送コンテスト  
(第31回NHK杯県予選)

総合 1位

テレビ番組部門 4位

ラジオ番組部門 4位

アナウンス部門

C・A(3-3) 2位

朗読部門

A・S(3-1) 1位

Y・K(3-1) 入選

◇個人の活躍

\*広島市中学校陸上競技選手権大会

S・R(1-2) 100m 5位

\*第8回全国中学生少林寺拳法大会

C・N(3-3)

⇒全国大会出場権獲得



《高校》

◇高校新体操部

\* 第 67 回広島県高等学校総合体育大会

**団体**：2 位 ⇒ 中国大会出場権獲得

**個人**：2 部種目別ボール

S・K(3-C) 1 位

◇高校水泳部

\* 広島県高等学校選手権水泳競技大会

広島地区予選

**個人**：N・K(1-D)

50m 自由形 8 位

100m 背泳ぎ 6 位

⇒ 2 種目ともに県大会出場権獲得

◇高校放送部

\* 第 61 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト

中部地区予選

アナウンス部門

M・M(3-E) 1 位

朗読部門

M・H(3-A) 上位入賞

A・S(2-E)

\* 第 61 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト

県大会

アナウンス部門

M・M(3-E) 審査員奨励賞

朗読部門

M・H(3-A) 審査員奨励賞

◇個人の活躍

\* 吉備国際大学英語スピーチコンテスト

Y・I(2-D) 3 位(国際ローター賞)

※「生徒の活躍」について

この欄は、部活動・同好会の大会・試合結果等を掲載しています。個人については主催団体より学校に直接報告があったものを中心に、個人の報告によるものを載せています。報告は担任を通じて書面でお寄せ下さい。内容検討の上、掲載いたします。



## 今月の聖句

「舌は火です。舌は『不義の世界』です。わたしたちの体の器官の一つで、全身を汚し、移り変わる人生を焼き尽くし、自らも地獄の火によって燃やされます。」

(ヤコブの手紙 3:6)

私たち現代の先進国に生きる者は、食欲と情報への欲が満たされた状態にあります。これは人類史上初のことだそうです。だから、食欲と情報への欲望には、ブレーキが利きにくいのです。食べ過ぎとネット依存には注意しましょうね。

(聖書科 I.Y)



## 7月行事予定表

1	火	
2	水	
3	木	
4	金	期末テスト(高1)
5	土	(中3、高2・3)
6	日	
7	月	(中1・2) 1限8:55～ 15分休憩
8	火	1限8:55～ 15分休憩
9	水	1限8:55～ 15分休憩
10	木	自宅学習日
11	金	テスト返却(30分授業)
12	土	高1・2・3模試(進研)
13	日	
14	月	
15	火	40分授業 1限8:55～ 月曜授業 期末テスト素点確認
16	水	
17	木	1限8:40～
18	金	火曜授業 1限8:40～
19	土	1限8:55～ 4限 大掃除 面接・高3補習
20	日	高1模試(希望者)
21	月	海の日
22	火	金曜授業 1限8:40～ Ⓜ 7限 終業礼拝 8限 LHR Ⓢ 8限 終業礼拝
23	水	中2チャレンジキャンプ イングリッシュ・ア・ベンチャー
24	木	
25	金	夏期海外生活体験学習 (8月10日まで)
26	土	街頭署名 高1・2補習
27	日	高2模試(希望者)
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

